

硫黄鳥島の火山活動解説資料（平成 26 年 11 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図 2 ～図 4）

16 日に沖縄気象台及び気象庁地球環境・海洋部が海上から実施した観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口及び中央部に位置するグスク火山火口から、従来から認められている少量の噴気を観測しました。また、赤外熱映像装置¹⁾による観測では、島内の地表面温度分布に異常は認められませんでした。前回の観測時（2014 年 9 月 8 日）と比べて状況に特段の変化は認められません。

1) 赤外熱映像装置により観測しています。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度を測定する測器で、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の温度よりも低く測定される場合があります。

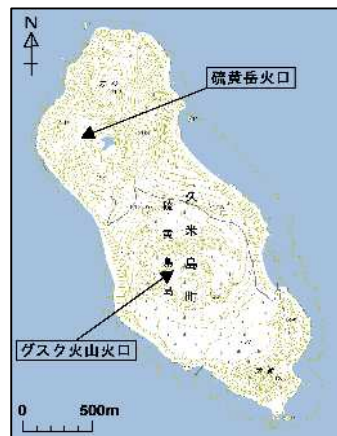


図 1 硫黄鳥島 火口位置図

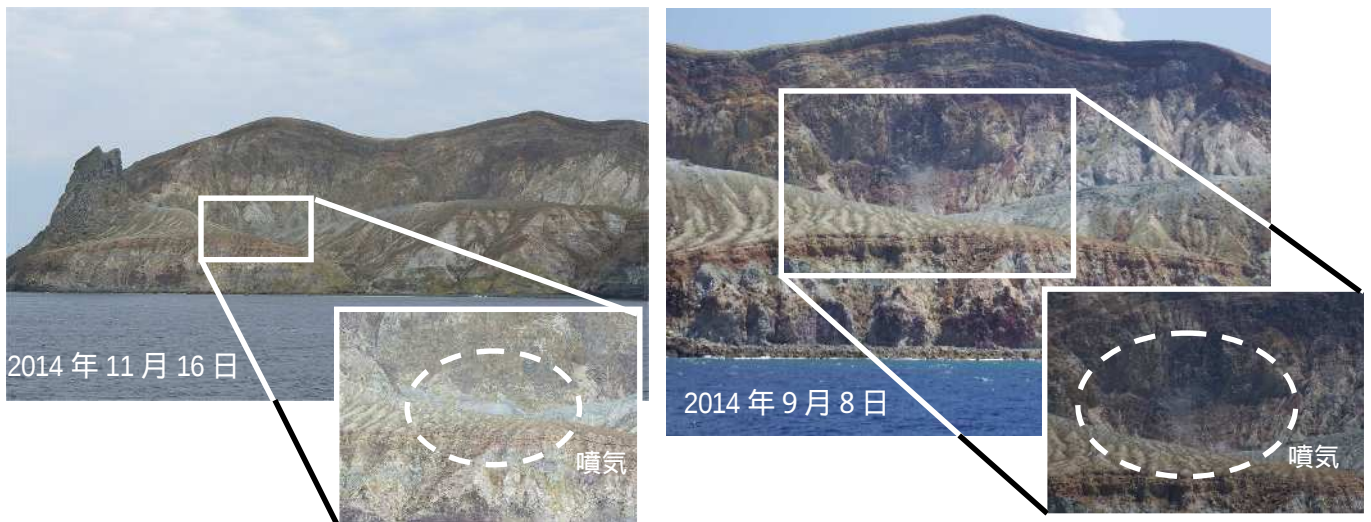


図 2 硫黄鳥島 硫黄岳火口の状況（火口南西側から撮影）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

本資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『25000 分の 1 地形図』を複製しています（承認番号：平 23 情複、第 492 号）。



図 3 硫黄鳥島 赤外熱映像装置¹⁾による硫黄岳火口の地表面温度分布（火口南西側から撮影）
前回の観測（2012 年 11 月 19 日実施）と比べ、噴気および高温領域の分布に特段の変化は認められませんでした。

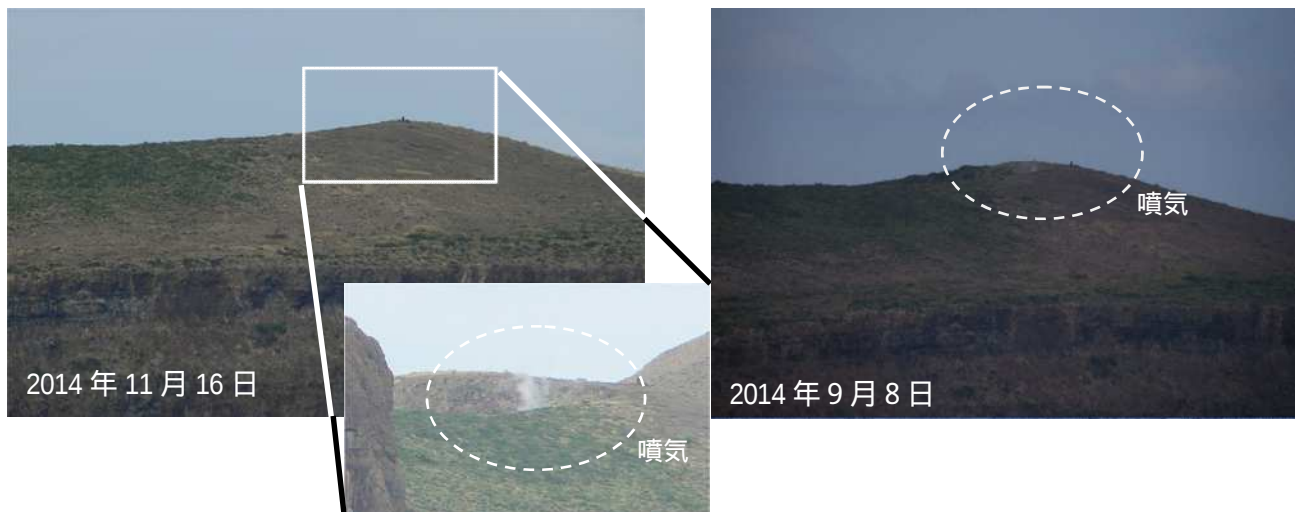


図 4 硫黄鳥島 グスク火山火口の状況（火口東側から撮影）